

令和6年度通学路交通安全対策要望 対応状況一覧

学校No.	学校名	No.	新規 ・ 継続	要望先	要望箇所	要望箇所の現況	分類	要望内容の詳細	※R6回答欄	
									計画	説明
20	塩川小学校	1	継続	県	県道147号線の藤原田の坂道	交通量が多く、大型のトラックも多く通るため通行に危険を感じる。坂道もあり、冬期のスリップ事故に巻き込まれることも心配される。大雨が降ると山の方から水が流れ出し、歩行が危険なため、保護者が送迎をしている。	⑧その他	防護柵（歩車分離）設置	実施予定なし	合同点検による状況把握が必要。
		2	継続	県	県道147号線の石井信号～坂井信号までの坂道	通学路にしている児童が多いが、交通量が多く大型のトラックも通るため通行に危険を感じる。冬期は安全確保のため、別地区を迂回して登下校している現状がある。	⑧その他	防護柵（歩車分離）設置	実施予定なし	合同点検による状況把握が必要。
		3	新規	県	県道81号線の郷仕川原付近坂道の歩道でガードレールがついていない所	通学路となっており、大型車の往来が激しい。冬場は坂道が凍結するため、スリップした車が歩道の方に乗りあげてくる危険性がある。	⑥道路設備	防護柵（歩車分離）設置	実施予定なし	合同点検による状況把握が必要。
		4	新規	県	県道81号線の太平洋セメントダンプ入り口	郷仕川原の児童が少ないため、通学路との認識がされにくい現状がある。大型車等の出入りもあるので「通学路」の看板を設置してほしい。	⑥道路設備	通学路 標識の設置	実施予定なし	合同点検による状況把握が必要。